

2. 選考により対象者を決定する制度

特別奨学生を希望する者は、出願登録の際、項目を選択して申し込んでください（看護学部特待生、共通テスト利用受験奨学金、沖縄等遠隔地学生支援奨学金を除く）。選考委員会において調査書の内容や試験結果をもとに選考を行い、採用者には決定通知を合格通知に同封するなどによりお知らせします。

採用人数は、各学科の入試区分ごとに若干名です。2年次以降は選考により、在学生対象特別奨学生として採用される可能性があります。2年次以降は申請不要で、5月～6月頃、採用者に連絡をします。P.36～37の減免制度と重複適用はできません。ただし、共通テスト利用受験奨学金の対象者に限り、高等教育の修学支援新制度との重複適用を認めます。

奨学金の種類等			対象学部等 及び 奨学金の額				対象者等
			大学			注1 短期大学	
			総合人間学部	地域経営学部	看護学部		
特別奨学生	学校推薦型選抜	指定校制 ^{注2}	500,000円 又は 250,000円		400,000円	400,000円 又は200,000円	・特別奨学生を希望する者
		公募制Ⅰ期	—	—	—	400,000円 又は200,000円	・高等学校調査書の成績が優秀な者
	一般選抜Ⅰ期		250,000円		800,000円 又は400,000円	—	・人物良好な者
	大学入学共通テスト利用Ⅰ期		250,000円		400,000円	—	・給付期間は1年間
	看護学部特待生(一般選抜Ⅰ期) ^{注3}			—	—	1,450,000円	—
共通テスト利用受験奨学金 ^{注4}			入学金 200,000円 授業料 350,000円		入：200,000円 授：550,000円	—	・上位3教科の平均が80点以上の者
			入学金 200,000円 授業料 100,000円		入：200,000円 授：200,000円	—	・上位3教科の平均が65点以上の者
沖縄等遠隔地学生支援奨学金 ^{注4}			250,000円		400,000円	—	・沖縄県全域及びその他都道府県の離島部出身者 ・学力・人物ともに優秀な者 ・給付期間は4年間
在学生対象特別奨学生			500,000円 又は 250,000円		800,000円 又は400,000円	400,000円 又は200,000円	・前年度の成績が特に優秀な者 ・人物良好な者 ・給付期間は1年間

注1 短期大学の3年コースを希望する者への奨学金額

3年コースの1～2年次は267,000円又は134,000円、3年次は266,000円又は132,000円になります。

注2 学校推薦型選抜(指定校制)特別奨学生

学校推薦型選抜(指定校制)受験者で特別奨学生を希望する者を対象に、小論文試験を実施します。試験を受けなかった場合は、選考の対象とはなりません。

試験日程等は、依頼する高等学校等へ通知しますので、担当の先生に確認してください。

特別奨学生結果については、採用された方のみ通知します。

注3 看護学部特待生

特待生には、奨学金1,450,000円を4年間支給します。ただし、2年次以降は学業成績により支給継続の可否を決定します。

注4 給付期間は4年間です。ただし、2年次以降は学業成績により支給継続の可否を決定します。

3. その他の奨学金

【1】日本学生支援機構等の奨学金

次の奨学金の給付、貸与を希望する方は、入学後指示された期間内に学生部に申し込んでください。選考により奨学金が貸与されます。なお、短期大学の3年コースの方についても給付、貸与は2年間のみです。

種類・利子	対 象	貸 与 額	条 件 など
第一種奨学金 (無利子・選択型)	大 学	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 自宅通学 20,000円、30,000円、40,000円、 54,000円 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、 50,000円、64,000円	貸与期間：所定修業年限 募集期間：4月、9月 返 還：借入金額により異なる 備 考：学業成績、家庭の経済事情、 人物等の選考を行い、日本 学生支援機構に推薦
	短期大学	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 自宅通学 20,000円、30,000円、40,000円、 53,000円 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、 50,000円、60,000円	
第二種奨学金 (有利子・選択型)	全 学 年	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、 60,000円、70,000円、80,000円、90,000円、 100,000円、110,000円、120,000円	